

情報入力シート＜病院情報＞

病院ロゴ		
病院名	嬉野医療センター	
薬剤部URL	https://ureshino.hosp.go.jp/section/d02.html	
キャッチコピー	No Medicine No Medical care ～薬をリスクにしないお手伝い一緒にしませんか？～	
学生へメッセージ	1年目の比較的早い時期からほぼすべての一般業務（調剤・製剤・夜勤・レジメン監査・無菌調製・病棟業務）を経験するため、様々なことを学び成長することができます。薬剤部内の雰囲気がとてもよく、困ったときに相談できる環境があり、他部門の職員と気軽に連携しながら患者さんの経過にかかわることができるのは病院ならではのメリットです。また、職種間の垣根が低く、病院全体がアットホームな雰囲気です。多種多様な疾患が経験できる病院薬剤師として、患者さんと向き合いながら一緒に働きませんか？ 国立病院機構は引越（転勤）が多いと勘違いされていませんか？ 確かに転勤はあります。転勤＝引越（転勤）ではありません!! 引越（転勤）せずに転勤をしている職員が 多数在籍 しています。転勤を契機に様々な病院を経験することが出来るため薬剤師スキルアップにつながります。研修の一環として年に1回他施設交換研修(2週間程度)も実施されています。薬剤師の前に一個人として世間の幅広げてみませんか？	
プロフィール (600字程度)	【基本理念】「命と心をつなぐ医療」の実践には、患者の身体的苦痛を取り除くだけではなく、積極的苦痛も理解し和らげる努力が必要である。また、患者や家族と良好な信頼関係を構築し、安心して治療を受けられる環境づくりが大切である。 国立病院機構嬉野医療センターは、昭和12年に創設された嬉野海軍病院に端を発し、終戦後の昭和20年12月国立嬉野病院として再出発しました。その後、平成12年に国立療養所武雄病院と併合。 平成16年4月国立病院の独立行政法人化によって、国立病院機構嬉野医療センターとなりました。 全体で399床（感染症4床と一般病室395床）を有する病院で、新病院では緩和ケア病棟を病院の最上階に新設して、嬉野の街が一望できる病室になっていて、身体的にも精神的にも患者に寄り添ったケアをおこなっております。 旧病院にもあったドクターヘリ専用のヘリポートや併設の附属看護学校などは全機能が移転し、病院本棟高層建築の屋上にヘリポートを設置して、佐賀県西部の高度医療や救急医療を担う拠点として整備されます。	
連絡先	0954-43-1120	
アクセス [200文字以内]	嬉野温泉駅より徒歩2分 長崎自動車道 嬉野 I.Cより車で6分 長崎空港より高速自動車道利用にて30分	
診療科目	診療科：24診療科 【外科系】外科、心臓血管外科、脳神経外科、整形外科、歯科口腔外科 【内科系】呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腎臓内科、リウマチ内科、糖尿病・内分泌内科、神経内科 【外科系・内科系以外】総合診療科、小児科、産婦人科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科・緩和医療科、耳鼻咽喉科、眼科、放射線科、救急科、病理診断科、歯科口腔外科	
病床数	399	
病院の特徴	地域医療支援病院 地域がん診療連携拠点病院 地域救命救急センター指定 臨床研修指定病院 地域災害拠点病院	
アピールポイント	 ゆるキャラヘリポーター、ここにあります!! 温かく思いやりのある薬剤部です! 医師、看護師、その他職員とも仲良く気軽に話せる環境です 	
研修施設		
薬剤師数	17人	
薬剤師構成	(男女比) 男性 11 : 女性 6	年齢構成 20代5名 30代8名 40代3名 50代1名
認定資格・数	日病薬認定薬剤師7名 HIV専門薬剤 1名 日病薬がん認定薬剤師1名 臨床薬理学会認定CRC 2名抗がん薬認定薬剤師2名 スポーツファーマシスト 3名 日本糖尿病療養指導士1名 実務実習指導薬剤師 6名 NST専門療法士 2名	
臨床研究実績	医療薬学会発表 6演題 総合医学会発表 4演題 日本エイズ学会学術集会・総会 1 演題	
チーム医療活動	ICT（感染対策向上加算1）、NST、DMAT	
院内保育園（連携含）	☒ 有 ☐ 無	